

— 越前市との関わりや思い出は？

父は旧武生市、母は旧今立町。私は今立町栗田部生まれ、18歳まで武生市東元町に育つ。従って、身体も精神も心もその核心部は越前市で生まれ、育まれた武生っ子。思い出は無数にあり書き尽くせません。

— 越前市の魅力はどんなところですか？

清らかな日野川の流れ、雲は飛ぶ日野山の高嶺。中国の名山にあやかり廬山の異名を持つ村国山。重い雪の降る雪国。大陸や半島との縁りの深い歴史の地。古墳、国府、紙漉、由緒ある神社や寺院は無数。打刃物、化学・電子工場も。菊人形。蕎麦が有名だが、冬の水羊かんは女性に大人気の絶品。

— 市民の皆さんへのメッセージ

武生市を出て、第二の故郷・京都で35年、第三の故郷・東京で14年になります。

声をかけていただいて、平成20年に「源氏物語書巻五十五帖展」を越前市でも開催出来たことは、うれしくもありがたい機会でした。

越前市のように、人口数万程度の都市は、人々の生活にとって望ましい規模です。農業、工業、商業、サービス業がバランスよく発展することを願っています。そして、何よりも文化のかおり高い風土を育まれんことを祈っています。

ふるさと大使 no.08



提供…中央公論新社

いしかわ きゅうよう

石川 九楊 さん

越前市出身、書家。

京都精華大学教授。大佛次郎賞、毎日出版文化賞等を受賞。